



【財政特集】

「水とみどりにつつまれた歴史文化交流都市」

の実現に向けて

実りの秋の10月、市内各地で秋祭りが開催されました。①塩屋荒神社秋祭り(10/24) ③坂越船祭り(10/10)
④御崎伊和都比売神社秋祭り(10/10) ⑤赤穂八幡宮秋祭り(10/17)

平成21年度決算のあらまし p 2～9
1 一般会計決算 2 財政分析 3 市債 4 基金
5 債務負担行為の状況 6 企業会計手法による財政状況の分析
病院事業の決算 p 10～11
水道事業の決算 p 12～13
介護老人保健施設事業の決算 p 14
平成22年度予算上半期の状況 p 15
写真で見る決算 p 16

'10
財政特集号

平成22年11月10日発行

「水とみどりにつつまれた 歴史文化交流都市」の実現に向けて

平成21年度は、「快適なまち・快適なとき・快適な暮らし 赤穂の創造」の実現を目指し、市政の5本柱である・快適なまちづくり・活力あるまちづくり・すこやかなまちづくり・こころ豊かなまちづくり・自律と協働のまちづくりを着実に推進し、「水とみどりにつつまれた歴史文化交流都市」の建設に向けて、厳しい財政環境の中、施策・事業の優先順位の厳しい選択と集中を行い、財源の確保と行財政の健全運営に配慮しながら、市民福祉の増進に努めました。

平成21年度における財政状況は、歳入において、地方交付税に臨時財政対策債を加えた実質的な地方交付税総額は増となりましたが、企業収益の大幅な悪化による法人市民税の減収により、一般財源の基幹である市税収入は減となりました。

歳出については、有年地区土地区画整理事業、密集住宅市街地整備促進事業、赤穂御崎桜補植事業など、生活関連基盤の整備や地域振興の更なる発展に資する施策等に積極的に取り組みました。

また、財政構造の健全化を図るため、給与関係経費や事務経費の一層の節減に取り組み、簡素でより効率的な財政運営に努めるとともに、「第6次赤穂市行政改革大綱」や「行財政改革緊急行動計画〔集中改革プラン〕」に基づき、中長期的な視点に立った取り組みを行いました。

各会計別決算状況

(1万円未満四捨五入)

| 会計区分 | 歳 入 | | | 歳 出 | | | |
|------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------|
| | 21年度 | 20年度 | 伸び率% | 21年度 | 20年度 | 伸び率% | |
| 一般会計 | 197億 9,157万円 | 182億 7,302万円 | 8.3 | 195億 916万円 | 181億 849万円 | 7.7 | |
| 特別会計 | 国民健康保険事業 | 52億 5,218万円 | 52億 9,493万円 | △ 0.8 | 50億 5,864万円 | 51億 6,045万円 | △ 2.0 |
| | 老人保健医療 | 1,918万円 | 5億 72万円 | △ 96.2 | 965万円 | 4億 9,751万円 | △ 98.1 |
| | 職員退職手当管理 | 7億 5,498万円 | 9億 9,595万円 | △ 24.2 | 7億 5,498万円 | 9億 9,595万円 | △ 24.2 |
| | 公共下水道事業 | 34億 8,462万円 | 53億 2,901万円 | △ 34.6 | 34億 8,442万円 | 53億 2,901万円 | △ 34.6 |
| | 農業集落排水事業 | 2億 5,485万円 | 2億 3,970万円 | 6.3 | 2億 5,485万円 | 2億 3,970万円 | 6.3 |
| | 墓地公園整備事業 | 1,576万円 | 1,340万円 | 17.6 | 1,576万円 | 1,340万円 | 17.6 |
| | 介護保険 | 29億 9,454万円 | 28億 8,766万円 | 3.7 | 29億 5,888万円 | 28億 3,635万円 | 4.3 |
| | 駐車場会計 | 1億 2,261万円 | 1億 5,434万円 | △ 20.6 | 1億 2,261万円 | 1億 5,434万円 | △ 20.6 |
| | 土地区画整理事業清算金 | 420万円 | 491万円 | △ 14.5 | 420万円 | 491万円 | △ 14.5 |
| | 後期高齢者医療保険 | 5億 2,709万円 | 5億 1,145万円 | 3.1 | 5億 1,671万円 | 5億 356万円 | 2.6 |
| 小計 | 134億 3,001万円 | 159億 3,207万円 | △ 15.7 | 131億 8,070万円 | 157億 3,518万円 | △ 16.2 | |
| 企業会計 | 病院事業 | 96億 5,643万円 | 94億 1,753万円 | 2.5 | 103億 949万円 | 105億 4,449万円 | △ 2.2 |
| | 介護老人保健施設事業 | 3億 1,368万円 | 2億 9,446万円 | 6.5 | 3億 1,229万円 | 3億 554万円 | 2.2 |
| | 水道事業 | 11億 944万円 | 10億 4,004万円 | 6.7 | 14億 6,149万円 | 14億 4,080万円 | 1.4 |
| | 小計 | 110億 7,955万円 | 107億 5,203万円 | 3.0 | 120億 8,327万円 | 122億 9,083万円 | △ 1.7 |
| 合計 | 443億 113万円 | 449億 5,712万円 | △ 1.5 | 447億 7,313万円 | 461億 3,450万円 | △ 3.0 | |

(注：企業会計には消費税額を含む)

平成21年度市民1人当たりの決算額 **874,920円**

※平成22年3月31日現在の住民基本台帳人口51,174人で計算したものです。

一般会計 **381,232円**

特別会計・企業会計 **493,688円**

1 一般会計決算

歳入

市の会計の中心をなす一般会計の決算収支は、歳入が197億9,157万円、歳出が195億916万円で、歳入・歳出の差引き額から翌年度に繰り越すこととなった財源を差引きした実質収支は2億3,344万円となりました。

歳入決算は、前年度と比べ8.3%の増加となりました。主な特徴として、繰入金が64.8%の減となる一方、国庫支出金が116.9%の増、臨時財政対策債や借換債の増に伴い市債が52.6%の増となっています。

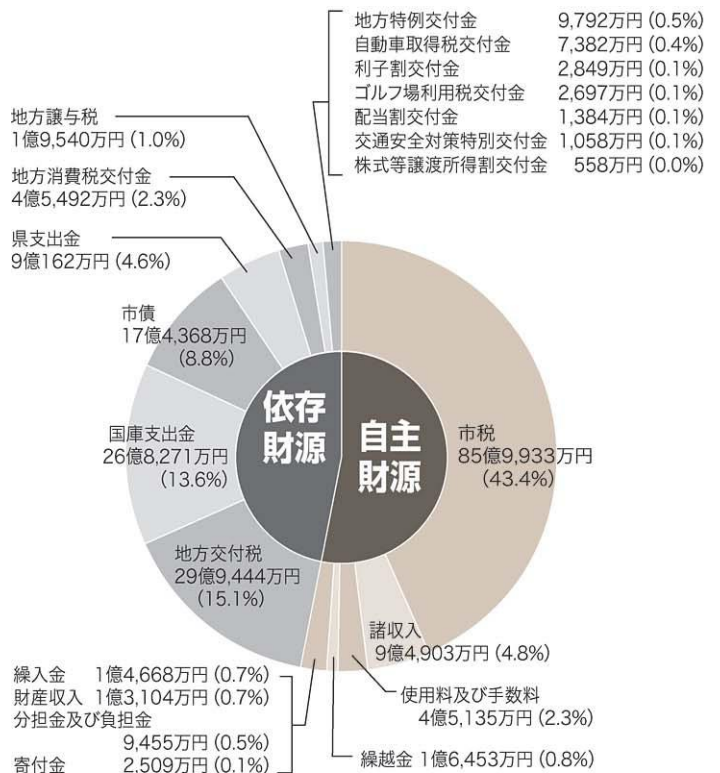
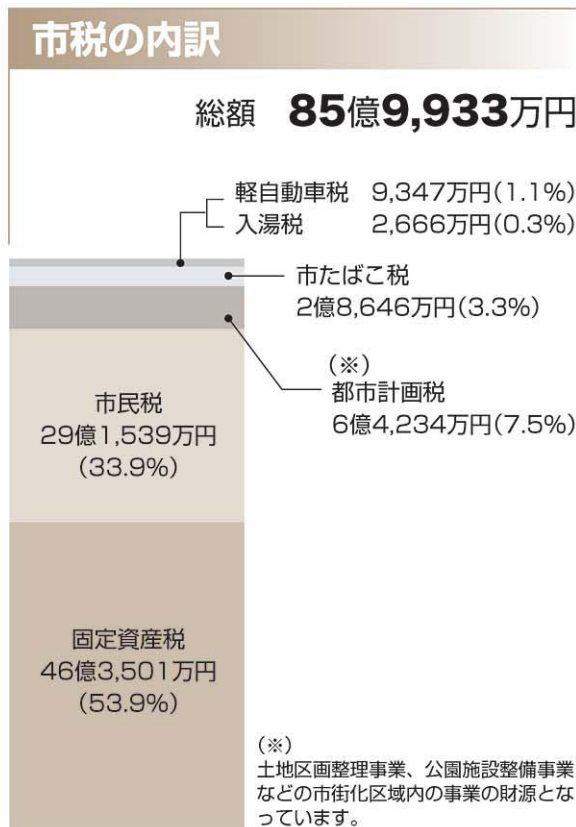
市税など市が自身で収入することができる財源（自主財源）の歳入全体に占める割合は、国庫支出金（依存財源）が大幅に増となったことなどにより、前年度比7.8ポイント減少して53.3%となっています。多様な行政サービスを提供していくうえで、この割合が高いほどより自主的かつ安定した事業を展開することができます。



歳入総額

197億9,157万円

- 自主財源 **105億6,160万円** (53.3%)
- 依存財源 **92億2,997万円** (46.7%)



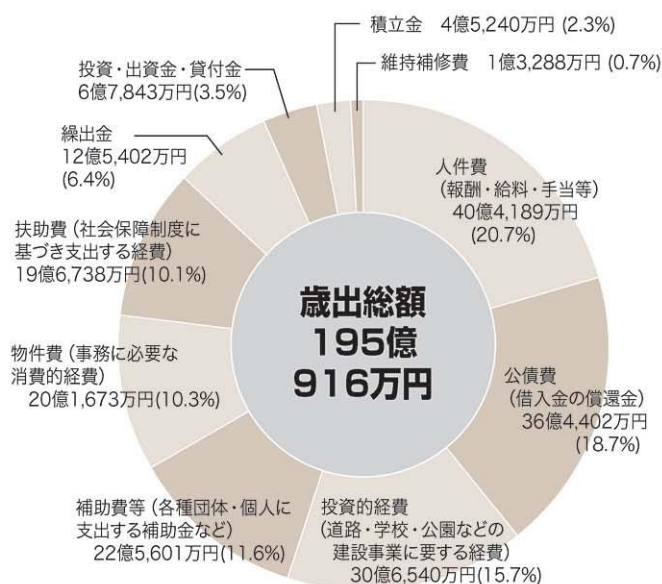
歳出

歳出決算は、前年度より7.7%の増加となりました。その主な内訳として、定額給付金給付事業等の実施により商工費が173.2%の増、経済危機対策に係る事業の実施等により土木費が8.7%の増、また、借換債償還金の増などにより公債費が7.2%の増となっています。

街路や公園等の建設事業に要する投資的経費は、国の「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」などの各種交付金を活用したことにより16.6%の増となっています。

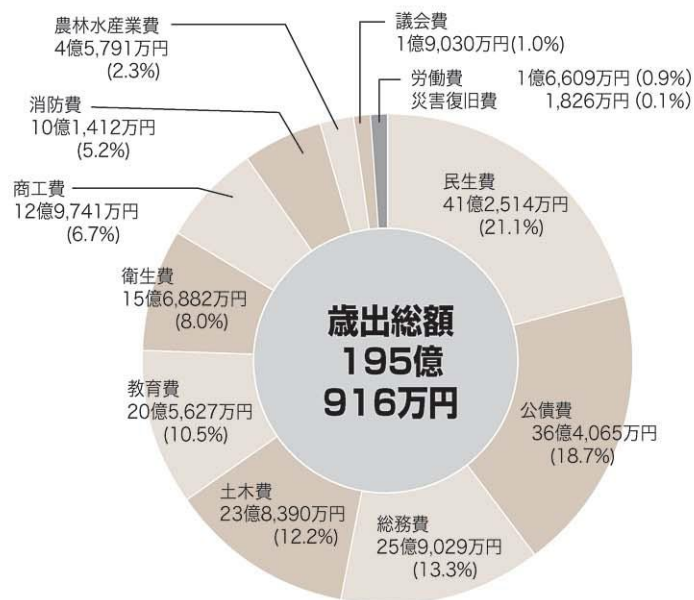
性質別内訳

経済的性質を基準として分類され、これにより経費の構造や財政体質を知ることができます。



目的別内訳

各行政目的別、つまり各部局ごとの仕事の内容によって分類され、これにより各部課ごとの経費の比重を知ることができます。



市民1人あたりの決算額 (目的別)



2 財政分析

市の財政の状態を分析するうえで用いられる指数及び比率には、次のようなものがあります。

①財政力指数(3カ年平均)

地方公共団体の財政力を示す指数として用いられ、1を超えるほど財源に余裕があるとされています。

| | 21年度(H19~H21) | 20年度(H18~H20) |
|--------------|---------------|---------------|
| 赤穂市 | 0.754 | 0.752 |
| 県平均 | 0.752 | 0.745 |
| 県内市平均(神戸市除く) | 0.778 | 0.780 |

②市債・基金1人あたり現在高(普通会計ベース)

家庭では、家を建てたり車を買うときに借り入れる「ローン」にあたる「市債現在高」と「貯金」にあたる「基金現在高」を人口一人あたりに直すと以下のとおりです。

| | 市債現在高(借金) | 基金現在高(貯金) |
|-------|-----------|-----------|
| 赤穂市 | 457,061円 | 39,722円 |
| 県内市平均 | 549,031円 | 58,542円 |

③経常収支比率(普通会計ベース)

人件費や公債費など、経常的に支出しなければならない経費に充てられた一般財源の経常一般財源(毎年経常的に収入され、用途を特定されないお金)総額に対する割合を、経常収支比率といいます。

この比率が高いほど自由に使えるお金の割合が少なく、道路や公園の整備をはじめ、市民の新しいニーズにこたえていく余力がなくなっていることを意味します。

| | 21年度 | 20年度 |
|--------------|------|------|
| 赤穂市 | 90.5 | 91.4 |
| 県平均 | 94.4 | 94.9 |
| 県内市平均(神戸市除く) | 93.1 | 94.0 |



財政健全化判断比率

1 実質赤字比率

標準財政規模(市税などの一般財源の標準規模)等に対する、実質赤字額の比率です。

2 連結実質赤字比率

公営企業会計を含む全会計の赤字や黒字を合算し、市全体としての赤字の程度を示します。

3 実質公債費比率(3カ年平均)

標準財政規模等に対する、市が借り入れた借金(市債)の返済費用である公債費や、病院事業・下水道事業などの公営企業会計に対して公債費の補てんのために支出した額(繰入金)の合計額の割合を表す指標で、市の実質的な借入金の負担比率を示します。18%を超えると市債の発行にあたり県の許可が必要になりますが、平成21年度決算においては前年度と同率の14.2%となっています。

4 将来負担比率

土地開発公社や病院事業・水道事業を含め、市として将来負担すべき実質的な負債の総額の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。

一般会計等の借入金(地方債)や将来払っていく可能性のある負担等の、現時点での残高を指標化しており、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示すもので、比率が低いほど財政状態が良いことを表します。

| 区分 | 1 実質赤字比率 | 2 連結実質赤字比率 | 3 実質公債費比率 | 4 将来負担比率 |
|--------------|----------|------------|-----------|----------|
| 赤穂市 | — | — | 14.2 | 219.1 |
| 県平均 | | | 13.3 | 141.6 |
| 県内市平均(神戸市除く) | | | 12.9 | 129.3 |
| 早期健全化基準 | 13.07 | 18.07 | 25.0 | 350.0 |
| 財政再生基準 | 20.00 | 40.00 | 35.0 | |

実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合は、「—」と記載しています。

4 基金

事業の推進、財源調達のために必要な資金を積立てて運用する基金等の状況は、次表のとおりです。

■基金内訳(一般会計+特別会計)

| 基金名 | 現在高 | |
|-------------|---------------|---------------|
| 1 財政調整基金 | 4億8,602万円 | |
| 2 市債管理基金 | 3億5,304万円 | |
| 3 その他特定目的基金 | 23億1,890万円 | |
| 主なもの | (健康管理施設整備基金) | 2億1,037万円 |
| | (都市施設等整備事業基金) | 1億6,645万円 |
| | (赤穂ふるさとづくり基金) | 703万円 |
| | 合計 | 31億5,796万円 |
| | | 内訳 |
| | | 現金 27億8,975万円 |
| | | 出資金 500万円 |
| | | 有価証券 336万円 |
| | | 土地 3億5,985万円 |

3 市債

住みよいまちづくりを進めるために、道路や公園、下水道などの生活環境施設や、学校などの教育施設の整備を積極的に行っていますが、単年度の市税等だけでは、これらの財源をまかないきれません。

また、これらの事業効果は後年度に及ぶものであり、後年度の世代との負担を均等にすることからも、必要な財源の一部を市債として借入れ、後年度に市税等で償還(返済)しています。

■市債の状況

| 区分 | 20年度末 現在高 | 21年度中増減 | | 21年度末 現在高 |
|--------------|--------------|------------|------------|--------------|
| | | 市債借入額 | 元金償還額 | |
| 一般会計 | 250億9,803万円 | 17億4,368万円 | 32億3,031万円 | 236億1,140万円 |
| 公共下水道事業特別会計 | 183億6,259万円 | 18億3,310万円 | 22億7,796万円 | 179億1,773万円 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 25億5,188万円 | 7,870万円 | 1億4,252万円 | 24億8,806万円 |
| 駐車場事業特別会計 | 13億439万円 | | 1億234万円 | 12億205万円 |
| 合計 | 473億1,689万円 | 36億5,548万円 | 57億5,313万円 | 452億1,924万円 |

赤穂市の家計簿 ~一般会計決算を家計に例えると~

市の決算額は100億円を超える大きな額のため、このままでは実感がわきにくいものです。そこで、市の財政状況を年収500万円の家計に置き換えて表してみました。

【収入】

| 赤穂市の一般会計決算(平成21年度決算) | | 赤穂市の家計簿 | | | |
|----------------------|------------------|-------------|-------------------|--------|------|
| | | 収入項目 | 年間収入 | 1ヵ月の収入 | |
| 自主財源 | 市税・使用料手数料など | 104億1,492万円 | 給料・ボーナス | 500万円 | 41万円 |
| | 繰入金 | 1億4,668万円 | 貯金の取崩し | 7万円 | 1万円 |
| 依存財源 | 国県支出金 地方交付税など | 74億8,629万円 | 親からの援助、 児童手当など | 359万円 | 30万円 |
| | 市債 | 17億4,368万円 | 借金 | 84万円 | 7万円 |
| 収入合計 | | 197億9,157万円 | 収入合計 | 950万円 | 79万円 |

【支出】

| 赤穂市の一般会計決算(平成21年度決算) | | 赤穂市の家計簿 | | |
|------------------------------|------------|--------------------------------------|-------|--------|
| | | 支出項目 | 年間支出 | 1ヵ月の収入 |
| 人件費 | 40億4,189万円 | 生活費(食費) | 194万円 | 16万円 |
| 扶助費 | 19億6,738万円 | 医療費、保育料など | 94万円 | 8万円 |
| 公債費 | 36億4,402万円 | ローンの返済 | 175万円 | 15万円 |
| 物件費等 補助費 投資及び 出資金など | 50億8,405万円 | 光熱水費、電話代、 消耗品、寄付金、 冠婚葬祭費、交際費など | 244万円 | 20万円 |
| 繰出金 | 12億5,402万円 | 子どもへの仕送り | 60万円 | 5万円 |
| 積立金 | 4億5,240万円 | 貯金 | 22万円 | 2万円 |
| 投資的経費 | 30億6,540万円 | 自宅のリフォーム、 自家用車購入など | 147万円 | 12万円 |
| 支出合計 | 195億916万円 | 支出合計 | 936万円 | 78万円 |

★市債残高 236億1,140万円 ローン残高 1,134万円(前年度1,169万円)

5 債務負担行為の状況

債務負担行為とは、後年度において支出の義務を負う行為、例えば数年度にわたる工事を一括して契約することです。平成21年度末の状況は、次表のとおりです。

■債務負担行為の状況

| 事業名 | 債務負担行為 限度額 | 期間 | 22年度以降 支出予定額 |
|--|--|-----------------|------------------|
| 赤穂御崎地区 国立公園 施設建設事業 | 15億1,344万円 | 平5 ~ 平24 | 1億7,616万円 |
| 温泉源掘削 事業補助 | 赤穂観光協会が事業資金として金融機関より融資を受けた額の元利償還金の1/2 | 平12 ~ 平26 | 債務負担行為 限度額と同じ |
| 赤穂駅周辺整備 株式会社の施設 取得資金等に 係る損失補填 | 赤穂駅周辺整備株式会社が施設取得資金等として金融機関から融資を受ける27億3,000万円 | 平16 ~ 平25 | 9億8,110万円 |

6 企業会計手法による 財政状況の分析

赤穂市の財政状況を検討する一つの手法として、企業会計的な考え方を取り入れた「財務書類4表」を作成しています。「バランスシート（貸借対照表）」「行政コスト計算書」「純資産変動計算書」「資金収支計算書」の4表から、資産や負債の状態（ストック情報）や行政サービスに要したコスト（フロー情報）、実際の資金の流れをみることで、より詳細にわかりやすく財政状況を把握できます。

① バランスシート

| | |
|-----------|---------|
| 資産 | 1,075億円 |
| (市民1人あたり) | 210万円 |
| 負債 | 332億円 |
| (市民1人あたり) | 64万8千円 |
| 純資産 | 743億円 |
| (市民1人あたり) | 145万2千円 |

■ バランスシートからわかること

バランスシートとは、住民サービスを提供するために保有している資産と、その資産をどのような財源（負債、純資産）で調達してきたかを総括的に対照表示したものです。

赤穂市の資産については、厳しい財政状況を反映して近年減少傾向にあります。その要因としては、これまでに形成してきた有形固定資産（建物等）にかかる減価償却などがあげられます。

一方、負債についても減少傾向にあり、その要因としては、投資的経費に係る市債の発行抑制などがあげられます。

また、負債と純資産が資産に占める割合を比較すると、負債が30.9%（平成20年度32.5%）、純資産が69.1%（平成20年度67.5%）となり、前年度と比べて負債の割合が減少していることから、将来への負担は減少傾向にあるといえます。

[注]

- ・普通会計を対象としています。
- ・各表内の〔 〕は、対前年度増減額です。
- ・市民1人あたりの各表は、平成22年3月31日現在の住民基本台帳登録人口（51,174人）で計算しています。
- ・表示単位未満は「-」としています。

平成21年度バランスシート（平成22年3月31日現在）

| 借 方 | | 貸 方 | |
|-------------|----------------|----------------|----------------|
| 資産の部 | | 負債の部 | |
| 1. 公共資産 | 971億円〔△ 16億円〕 | 1. 固定負債 | 296億円〔△ 20億円〕 |
| (1) 有形固定資産 | 969億円〔△ 16億円〕 | (1) 地方債 | 208億円〔△ 15億円〕 |
| (2) 売却可能資産 | 2億円〔 - 〕 | (2) 退職手当引当金 | 38億円〔 - 〕 |
| 2. 投資等 | 92億円〔 - 6億円〕 | (3) その他 | 50億円〔△ 5億円〕 |
| (1) 投資及び出資金 | 70億円〔 - 3億円〕 | 2. 流動負債 | 36億円〔 - 〕 |
| (2) 貸付金 | 1億円〔 - 〕 | (1) 翌年度償還予定地方債 | 26億円〔 - 〕 |
| (3) 基金等 | 21億円〔 - 3億円〕 | (2) その他 | 10億円〔 - 〕 |
| 3. 流動資産 | 12億円〔 - 2億円〕 | 負債合計 | 332億円〔△ 20億円〕 |
| (1) 現金・預金 | 11億円〔 - 2億円〕 | 純資産の部 | 743億円〔 - 12億円〕 |
| (うち歳計現金) | (3)億円〔 (1)億円〕 | 純資産合計 | 743億円〔 - 12億円〕 |
| (2) 未収金 | 1億円〔 - 〕 | | |
| 資産合計 | 1,075億円〔△ 8億円〕 | 負債及び純資産合計 | 1,075億円〔△ 8億円〕 |

市民1人あたりのバランスシート（平成22年3月31日現在）

| 借 方 | | 貸 方 | |
|-------------|-----------------|----------------|------------------|
| 資産の部 | | 負債の部 | |
| 1. 公共資産 | 1,897千円〔△ 18千円〕 | 1. 固定負債 | 578千円〔△ 35千円〕 |
| (1) 有形固定資産 | 1,893千円〔△ 18千円〕 | (1) 地方債 | 407千円〔△ 25千円〕 |
| (2) 売却可能資産 | 4千円〔 - 〕 | (2) 退職手当引当金 | 74千円〔 - 〕 |
| 2. 投資等 | 179千円〔 - 12千円〕 | (3) その他 | 97千円〔△ 10千円〕 |
| (1) 投資及び出資金 | 137千円〔 - 8千円〕 | 2. 流動負債 | 70千円〔 - 1千円〕 |
| (2) 貸付金 | 1千円〔 - 〕 | (1) 翌年度償還予定地方債 | 50千円〔 - 〕 |
| (3) 基金等 | 41千円〔 - 4千円〕 | (2) その他 | 20千円〔 - 1千円〕 |
| 3. 流動資産 | 24千円〔 - 4千円〕 | 負債合計 | 648千円〔△ 34千円〕 |
| (1) 現金・預金 | 22千円〔 - 4千円〕 | 純資産の部 | 1,452千円〔 - 32千円〕 |
| (うち歳計現金) | (6)千円〔 (3)千円〕 | 純資産合計 | 1,452千円〔 - 32千円〕 |
| (2) 未収金 | 2千円〔 - 〕 | | |
| 資産合計 | 2,100千円〔△ 2千円〕 | 負債及び純資産合計 | 2,100千円〔△ 2千円〕 |

用語解説

- 有形固定資産 道路等の社会基盤となる資産、社会教育施設等の公共サービスに供されている資産
- 売却可能資産 遊休資産や未利用資産等の売却が可能な資産
- 投資及び出資金 債券及び株式並びに財団法人の寄付行為に係る出せん金等

- 現金預金 歳計現金等
- 未収金 税等の未収金
- 退職手当引当金 特別職を含む全職員が年度末に普通退職したと仮定した場合の退職手当見込額

②行政コスト計算書

経常行政コスト 164億円
(市民1人あたり 31万9千円)

経常収益 10億円
(市民1人あたり 1万8千円)

純経常行政コスト 154億円
(市民1人あたり 30万1千円)

■行政コスト計算書からわかること

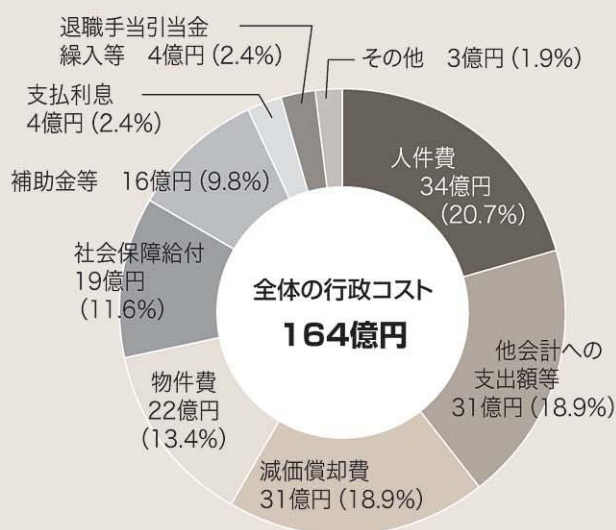
行政コスト計算書とは、1年間の行政活動のうち、資産形成につながらない人的サービスや福祉の給付サービスなどのための経費と、それに対する直接の対価として得られた財源を対比させたものです。

平成21年度における赤穂市の経常行政コストは164億円(市民1人あたり31万9千円)、費用を賄うための経常収益(受益者負担)は10億円(市民1人あたり1万8千円)で、差引の純経常行政コスト154億円(市民1人あたり30万1千円)は、地方税や地方交付税といった一般財源等で賄われています。

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

平成21年度 行政コスト計算書

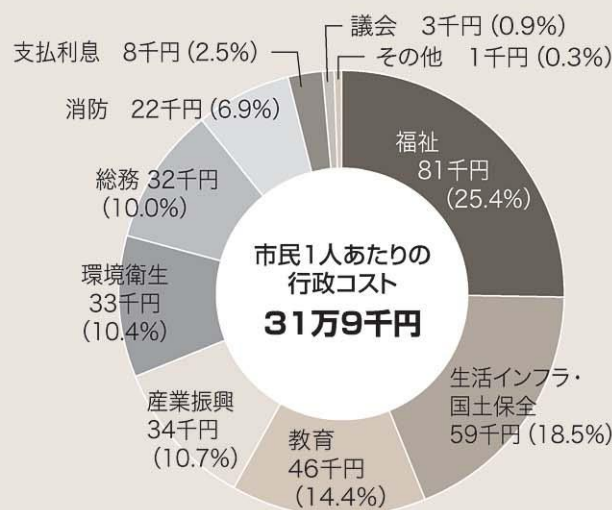
| | |
|----------------------------|--------------|
| 経常行政コスト | 164億円 (3億円) |
| 1. 人にかかるコスト | 40億円 (△ 6億円) |
| (1)人件費 | 34億円 (△ 2億円) |
| (2)退職手当引当金繰入等 | 4億円 (△ 4億円) |
| (3)賞与引当金繰入額 | 2億円 (-) |
| 2. 物にかかるコスト | 54億円 (1億円) |
| (1)物件費 | 22億円 (1億円) |
| (2)維持補修費 | 1億円 (-) |
| (3)減価償却費 | 31億円 (-) |
| 3. 移転支的コスト | 66億円 (9億円) |
| (1)社会保障給付 | 19億円 (-) |
| (2)補助金等 | 16億円 (7億円) |
| (3)他会計への支出額等 | 31億円 (2億円) |
| 4. その他のコスト | 4億円 (△ 1億円) |
| (1)支払利息 | 4億円 (-) |
| (2)回収不能見込計上額等 | - (△ 1億円) |
| 経常収益 | 10億円 (1億円) |
| 1. 使用料・手数料 | 5億円 (-) |
| 2. 分担金・負担金・寄附金 | 5億円 (1億円) |
| 純経常行政コスト (経常行政コスト-経常収益) | 154億円 (2億円) |



(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

市民1人あたりの行政コスト計算書

| | |
|----------------------------|---------------|
| 経常行政コスト | 319千円 (7千円) |
| 1. 人にかかるコスト | 78千円 (△ 11千円) |
| (1)人件費 | 66千円 (△ 3千円) |
| (2)退職手当引当金繰入等 | 8千円 (△ 7千円) |
| (3)賞与引当金繰入額 | 4千円 (△ 1千円) |
| 2. 物にかかるコスト | 105千円 (3千円) |
| (1)物件費 | 43千円 (2千円) |
| (2)維持補修費 | 2千円 (-) |
| (3)減価償却費 | 60千円 (1千円) |
| 3. 移転支的コスト | 128千円 (17千円) |
| (1)社会保障給付 | 37千円 (1千円) |
| (2)補助費等 | 30千円 (12千円) |
| (3)他会計への支出額等 | 61千円 (4千円) |
| 4. その他のコスト | 8千円 (△ 2千円) |
| (1)支払利息 | 8千円 (△ 1千円) |
| (2)回収不能見込計上額等 | - (△ 1千円) |
| 経常収益 | 18千円 (1千円) |
| 1. 使用料・手数料 | 9千円 (-) |
| 2. 分担金・負担金・寄附金 | 9千円 (1千円) |
| 純経常行政コスト (経常行政コスト-経常収益) | 301千円 (6千円) |



用語解説

- 退職手当引当金繰入等 将来の退職手当のうち当期に発生した分
- 物件費 旅費、備品購入費等
- 社会保障給付 生活保護費等
- 他会計への支出額等 特別会計等他会計への財政支出

③純資産変動計算書

| | |
|-----------|---------|
| 期首純資産残高 | 731億円 |
| (市民1人あたり) | 142万9千円 |
| 年間変動額 | +12億円 |
| (市民1人あたり) | 2万3千円 |
| 期末純資産残高 | 743億円 |
| (市民1人あたり) | 145万2千円 |

■純資産変動計算書からわかること

純資産変動計算書とは、バランスシートの純資産の部に計上されている各数値が、1年間でどのように変動したかを表したものです。純資産の部は今までの世代が負担してきた部分ですので、純資産が増加すると、現役世代が自らの負担によって、将来世代も利用可能な資産を蓄積し、将来世代の負担を軽減していることを表します。反対に純資産が減少すると、現役世代が将来世代にとっても利用可能であった資産を消費して行政サービスを受ける一方で、将来世代にその分の負担を先送りすることを表しています。

平成20年度バランスシートの純資産残高である「期首純資産残高」が731億円(市民1人あたり142万9千円)、平成21年度バランスシートの純資産残高である「期末純資産残高」は743億円(市民1人あたり145万2千円)で、差引12億円(市民1人あたり2万3千円)の純資産の増額となっています。

純資産変動計算書 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

| | 全 体 | 市民1人あたり |
|-------------|--------|---------|
| 1. 期首純資産残高 | 731億円 | 1,429千円 |
| 2. 純経常行政コスト | △154億円 | △301千円 |
| 3. 財源調達 | 164億円 | 320千円 |
| (1) 地方税 | 86億円 | 169千円 |
| (2) 地方交付税 | 30億円 | 58千円 |
| (3) 経常補助金 | 33億円 | 64千円 |
| (4) 建設補助金 | 3億円 | 6千円 |
| (5) その他収入 | 12億円 | 23千円 |
| 4. その他 | 2億円 | 4千円 |
| 5. 期末純資産残高 | 743億円 | 1,452千円 |

用語解説

- 期首純資産残高 前年度末の純資産の額
- 純経常行政コスト 行政コスト計算書により算定される数値
- その他 資産の除売却損益、資産の再評価による損益等

④資金収支計算書

| | |
|-----------|--------|
| 経常的収支 | 50億円 |
| (市民1人あたり) | 9万8千円 |
| 公共資産整備収支 | △10億円 |
| (市民1人あたり) | △1万8千円 |
| 投資・財務的収支 | △39億円 |
| (市民1人あたり) | △7万7千円 |
| 当期収支 | 1億円 |
| (市民1人あたり) | 3千円 |

■資金収支計算書からわかること

資金収支計算書とは、歳計現金(=資金)の出入りの情報を、「経常的収支の部」、「公共資産整備収支の部」及び「投資・財務的収支の部」の3つの区分に分けて表示したものです。

経常的収支は、人件費や物件費などの支出と、地方税や地方交付税などの収支であり、50億円(市民1人あたり9万8千円)の資金余剰(黒字)となっています。

公共資産整備収支は、社会資本整備への支出と、その財源となった国・県補助金や地方債などの収支であり、10億円(市民1人あたり1万8千円)の資金不足(赤字)となっています。

投資・財務的収支は、地方債の償還、貸付金などの支出と、その財源となった国・県補助金や貸付金の回収額などの収支であり、39億円(市民1人あたり7万7千円)の資金不足(赤字)となっています。

全体の当期収支としては、経常的収支における資金余剰により、公共資産整備収支、投資・財務的収支で生じている資金不足(赤字)を補てんし、当期収支は1億円(市民1人あたり3千円)の黒字となっています。

資金収支計算書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

| | 全 体 | 市民1人あたり |
|-------------|--------|---------|
| 1. 経常的収支 | 50億円 | 98千円 |
| 2. 公共資産整備収支 | △10億円 | △18千円 |
| 3. 投資・財務的収支 | △39億円 | △77千円 |
| 4. 当期収支 | 1億円 | 3千円 |
| 5. 期首資金残高 | 2億円 | 3千円 |
| 6. 期末資金残高 | 3億円 | 6千円 |
| (基礎的財政収支) | | |
| 収入総額 | 189億円 | 370千円 |
| 支出総額 | △187億円 | △366千円 |
| 地方債発行額 | △11億円 | △22千円 |
| 地方債元利償還額 | 30億円 | 59千円 |
| 減債基金等増減額 | 1億円 | 1千円 |
| 7. 基礎的財政収支 | 22億円 | 42千円 |



用語解説

- 経常的収支 経常的な行政活動の収支で、その他の収支に含まれないもの
- 公共資産整備収支 公共資産の整備にかかる収支
- 投資・財務的収支 地方債の元利償還、発行額の収支等
- 基礎的財政収支 いわゆるプライマリーバランスのことで、公債費関連の歳入・歳出を除いた基礎的な財政収支

病院事業の 決算

問い合わせ先
市民病院財務課 ☎43・6421



業務の状況

平成21年度の延利用患者数は入院118,372人、外来258,868人でした。一日平均患者数は入院324人、外来1,070人で、医師、看護師など総勢395人の職員で医療活動を行いました。

また、地域における急性期医療を担う病院として、医療従事者の充足による診療体制の回復、救急患者の受入体制の整備に努めました。さらに、医療機関の機能を中立的な立場で調査・審査し評価する病院機能評価を再受審し、さらなる機能向上への指針といたしました。

医療機器においては、体外式衝撃波結石破碎装置の整備を行うとともに、新電子カルテの導入にも着手いたしました。あわせて、新型インフルエンザ対策として、国・県の財政支援を受け、医療用陰圧テント、血液浄化装置を整備いたしました。

今後も、「患者に選ばれる病院づくり」を基本とし

て、患者サービスの向上と効率的な費用執行に継続的に取り組んでまいります。

経理の状況

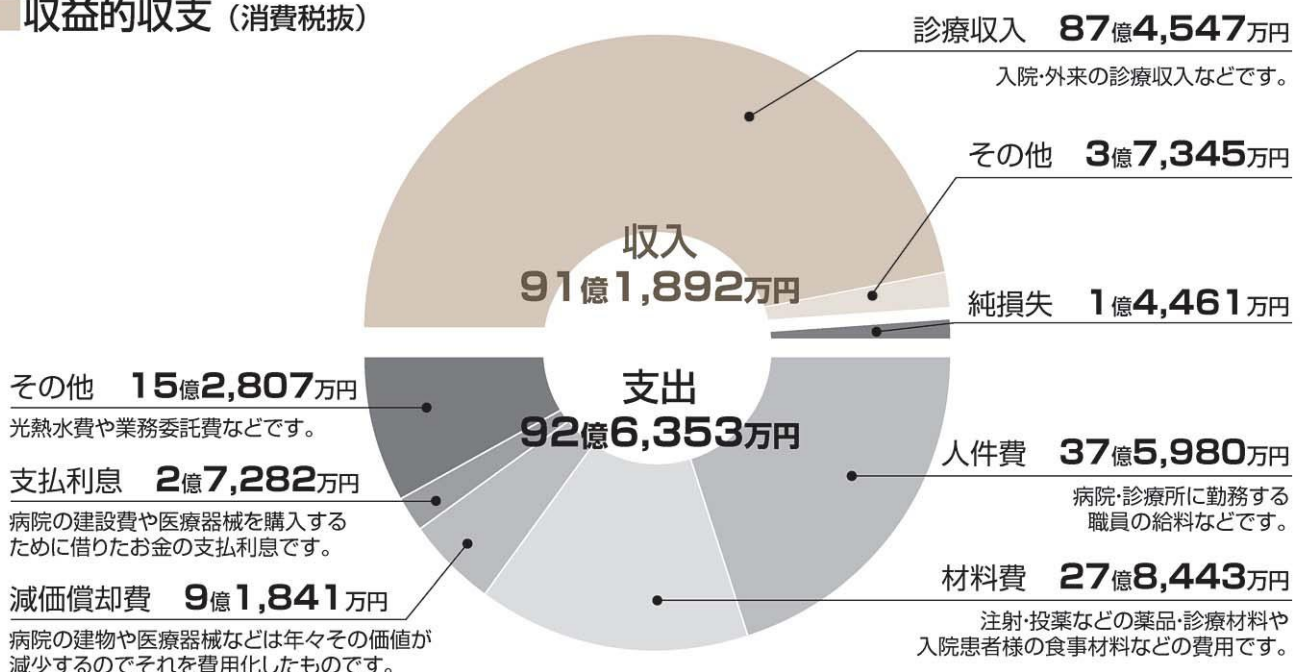
経営状況を表す収益的収支については、総収益9,118,926,088円、総費用9,263,531,932円となり、144,605,844円の赤字となりました。

資本的収支は、企業債などの収入520,004,997円に対し、医療機器整備などの支出1,128,982,159円となり、その差額608,977,162円については内部留保資金で補てんいたしました。

今後の病院運営

今後の病院運営につきましては、平成21年3月に策定した「赤穂市民病院改革プラン」に従い、医師・看護師等の医療従事者の確保に継続的に取り組んでいくとともに、患者ニーズにあった診療体制の整備と病院経営の健全性維持に努めてまいります。

収益的収支（消費税抜）



■患者利用の状況

1. 診療科別一日平均患者数

【病院】

(単位：人)

| 区分 | 内科 | 呼吸器科 | 消化器科 | 循環器科 | 小児科 | 外科 | 産婦人科 |
|----|-------|-------|-------|-------|--------|---------|-------|
| 入院 | 24.7 | 34.0 | 73.9 | 64.3 | 3.9 | 13.3 | 13.3 |
| 外来 | 136.2 | 73.6 | 175.9 | 118.5 | 38.1 | 55.0 | 36.5 |
| 区分 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | 皮膚科 | 整形外科 | 泌尿器科 | 放射線科 | 脳神経外科 |
| 入院 | 1.7 | 5.5 | 2.0 | 53.6 | 15.3 | 0.0 | 8.5 |
| 外来 | 34.4 | 46.4 | 53.4 | 140.7 | 51.9 | 7.1 | 21.6 |
| 区分 | 麻酔科 | 形成外科 | 心療内科 | 精神科 | 歯科口腔外科 | 計 | |
| 入院 | 1.2 | 6.7 | 0.0 | 0.0 | 2.4 | 324.3 | |
| 外来 | 24.2 | 25.5 | 1.2 | 0.1 | 29.4 | 1,069.7 | |

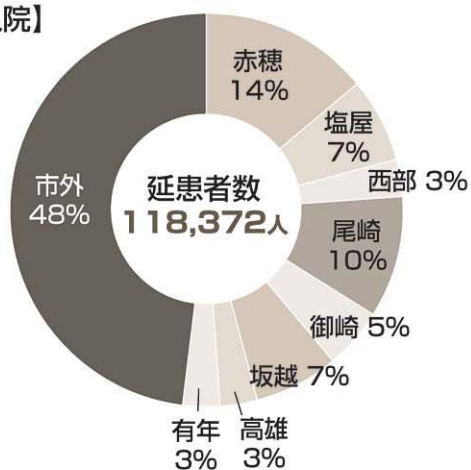
【診療所】

(単位：人)

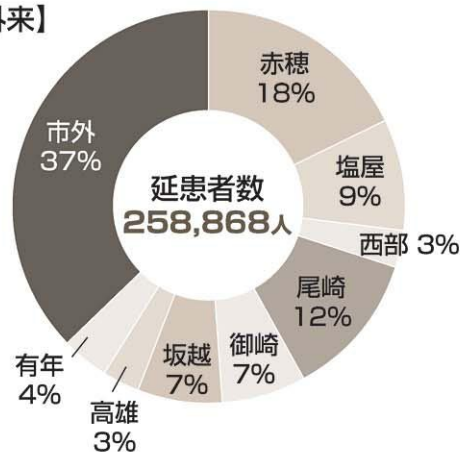
| 区分 | 高雄 | 福浦 | 有年 | 合計 |
|----|------|------|------|------|
| 外来 | 12.1 | 11.5 | 12.0 | 35.6 |

2. 地区別患者比率

【入院】

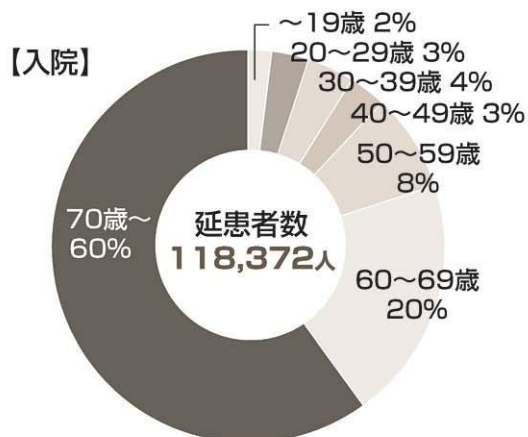


【外来】

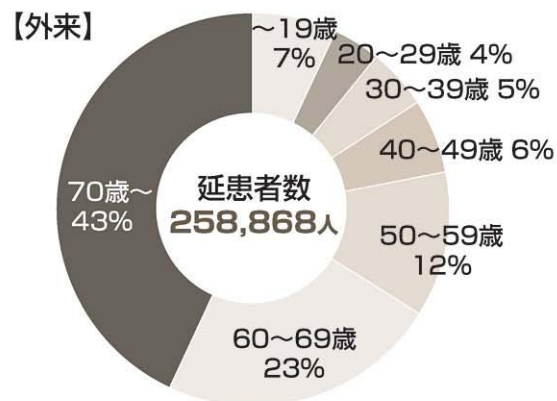


3. 年齢別患者比率

【入院】



【外来】



水道事業の決算

問い合わせ先
上下水道部総務課 ☎43-6888

業務の状況

平成21年度は、51,496人の方々に1日平均34,942 m³の水をご使用いただき収益的収支は、総収益902,306,240円、総費用824,690,445円となり、77,615,795円の黒字となりました。この利益は平成22年度以降の水道施設の建設や企業債の借入金の返済に充てられます。

資本的収支は、水道施設の建設事業を実施し、支出606,786,652円に対し、収入162,482,676円となっています。平成21年度の主な建設改良工事は次のとおりです。

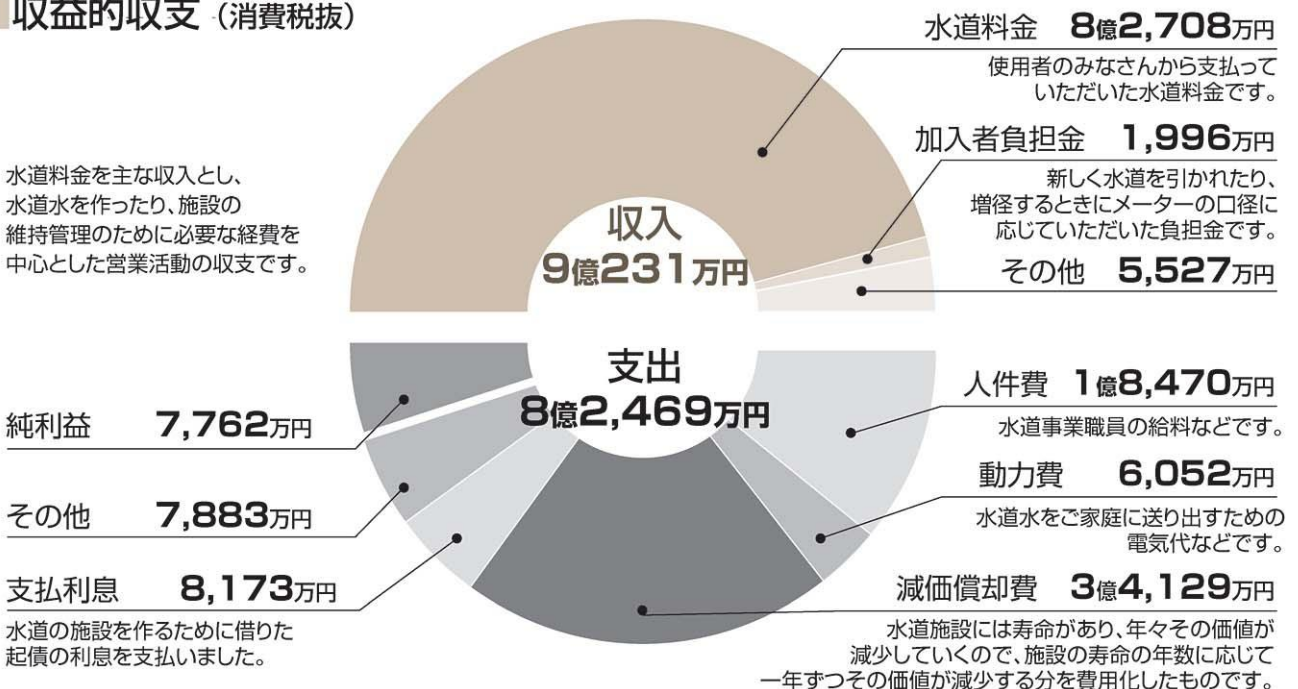
なお、国等からの借入金(起債)残高は1,755,932,896円で、これは長期にわたり水道料金をもって計画的に返済していくことにしています。

平成21年度の主な建設改良工事

- 配水管布設工事
事業費 54,234,600円
・宅地開発に伴い、新しい管を布設しました。
(平成21年度は、1,581.0m新設しました)
- 配水管改良等工事
事業費 47,570,250円
・老朽化した配水管を新しい管に取り替え等を行いました。
(平成21年度は、444.0m改良等しました)
- 原水施設改良工事
事業費 171,748,500円
・水源地の施設を整備しました。

収益的収支(消費税抜)

水道料金を主な収入とし、水道水を作ったり、施設の維持管理のために必要な経費を中心とした営業活動の収支です。



178項目の検査で安全な水を安定的に

平成21年度の水質

赤穂市の水道水源は全国名水 100 選に選ばれている千種川水系の浅井戸水と表流水です。

現在でも浅井戸水は良好な水質を保持しており、表流水も取水方法が取水埋渠ということで良好で安定した水質を保持しております。

上下水道部では原水の水質にあった浄水処理を実施しており、また、安全で安心して飲めるおいしい水をみなさまのご家庭にお届けするため、水質基準に定められた検査を実施しています。

平成 21 年度の水質検査の結果は次のとおりで、すべて水質基準値を満たしています。

また、これら水質基準項目(50 項目)に加え、目標設定項目 27 項目(農薬 102 項目含む)の検査を随時行い、より安全で良質な水を安定的に供給しております。

水道メーターの検針にご協力を

赤穂市では2ヵ月ごとに水道メーターの検針をしています。次のことについて、皆さまのご協力をお願いします。

- 水道メーターボックスの上には、自動車や物を置かないでください。
- 水道メーターボックスの中には、いつもきれいにしておいてください。
- 犬は、出入口や水道メーターボックスから離してつないでください。

水道使用水量等のお知らせ

2ヵ月ごとに検針をして「水道使用水量等のお知らせ」を各戸に通知しています。

主な内容は、①今回の使用水量 ②今回請求予定金額と納付(振替)予定日 ③水道料金と下水道使用料(または排水処理施設使用料) ④前回分口座振替内容 ⑤通信欄と裏面でお知らせ事項等をお知らせしています。

水道料金等の納付は 便利な口座振替を

水道料金は下水道使用料(または排水処理施設使用料)とともに2ヵ月ごととにいたっています。(納入期日は検針の翌月25日ですその日が金融機関の営業日でない日はその翌日)

納入期日を忘れていたりお支払いに向くなどの手間が省ける便利な口座振替を是非ご利用ください。

安価な料金を維持

上下水道部では、市民の皆さまに安全で安価な水を安定的にお届けするために、施設整備をはじめ、老朽管の取り替えや地震などの災害対策に取り組みんでいます。水道事業は地方公営企業法によって独立採算制となっており、経営に必要なほとんどの経費は水道料金収入で賄われています。水道料金はコスト削減等に努めることにより安価な料金を維持しています。

給水栓水質測定結果 (21年度平均値)

「<」は定量限界未満

| 調 | 検査項目 | 基準値等 | 北部水源系給水栓 | 南部水源系給水栓 | 備考 |
|----|-------------------|---------------|-----------|-----------|--------|
| 1 | 一般細菌 | 100個/ml以下 | 0 | 0 | 病原微生物 |
| 2 | 大腸菌 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | |
| 3 | カドミウム及びその化合物 | 0.01mg/l以下 | <0.001 | <0.001 | |
| 4 | 水銀及びその化合物 | 0.0005mg/l以下 | <0.00005 | <0.00005 | |
| 5 | セレン及びその化合物 | 0.01mg/l以下 | <0.001 | <0.001 | 重金属 |
| 6 | 鉛及びその化合物 | 0.01mg/l以下 | <0.001 | <0.001 | |
| 7 | ヒ素及びその化合物 | 0.01mg/l以下 | <0.001 | <0.001 | |
| 8 | 六価クロム化合物 | 0.05mg/l以下 | <0.005 | <0.005 | 無機物 |
| 9 | アゾ化合物及び塩化アゾ | 0.01mg/l以下 | <0.001 | <0.001 | |
| 10 | 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 | 10mg/l以下 | 1.93 | 0.95 | |
| 11 | フッ素及びその化合物 | 0.8mg/l以下 | 0.09 | 0.10 | |
| 12 | ホウ素及びその化合物 | 1.0mg/l以下 | <0.02 | <0.02 | 有機物 |
| 13 | 四塩化炭素 | 0.002mg/l以下 | <0.0002 | <0.0002 | |
| 14 | 1,4-ジクロロベンゼン | 0.05mg/l以下 | <0.005 | <0.005 | |
| 15 | ジクロロメタン | 0.02mg/l以下 | <0.002 | <0.002 | |
| 16 | トリクロロエチレン | 0.01mg/l以下 | <0.001 | <0.001 | 消毒副生成物 |
| 17 | トリクロロエチレン | 0.03mg/l以下 | <0.003 | <0.003 | |
| 18 | ベンゼン | 0.01mg/l以下 | <0.001 | <0.001 | |
| 19 | 塩素酸 | 0.6mg/l以下 | <0.06 | <0.06 | |
| 20 | クロロ酢酸 | 0.02mg/l以下 | <0.002 | <0.002 | 着色 |
| 21 | クロロホルム | 0.06mg/l以下 | <0.001 | 0.001 | |
| 22 | ジクロロ酢酸 | 0.04mg/l以下 | <0.004 | <0.004 | |
| 23 | ジブロモクロロメタン | 0.1mg/l以下 | <0.001 | 0.002 | |
| 24 | 臭素酸 | 0.01mg/l以下 | <0.001 | <0.001 | 味 |
| 25 | 総トリハロメタン | 0.1mg/l以下 | 0.001 | 0.005 | |
| 26 | トリクロロ酢酸 | 0.2mg/l以下 | <0.02 | <0.02 | |
| 27 | ブロモジクロロメタン | 0.03mg/l以下 | <0.001 | 0.002 | |
| 28 | ブロモホルム | 0.09mg/l以下 | <0.001 | <0.001 | 着色 |
| 29 | ホルムアルデヒド | 0.08mg/l以下 | <0.008 | <0.008 | |
| 30 | 亜鉛及びその化合物 | 1.0mg/l以下 | <0.01 | <0.01 | |
| 31 | アルミニウム及びその化合物 | 0.2mg/l以下 | <0.01 | <0.01 | |
| 32 | 鉄及びその化合物 | 0.3mg/l以下 | <0.03 | <0.03 | 味 |
| 33 | 銅及びその化合物 | 1.0mg/l以下 | 0.02 | <0.01 | |
| 34 | ナトリウム及びその化合物 | 200mg/l以下 | 9.0 | 7.3 | |
| 35 | マンガン及びその化合物 | 0.05mg/l以下 | <0.001 | <0.001 | |
| 36 | 塩化物イオン | 200mg/l以下 | 16 | 11 | 味 |
| 37 | カルシウム、マグネシウム等(硬度) | 300mg/l以下 | 61 | 47 | |
| 38 | 蒸発残留物 | 500mg/l以下 | 116 | 87 | |
| 39 | 陰イオン界面活性剤 | 0.2mg/l以下 | <0.02 | <0.02 | |
| 40 | ジェオスミン | 0.00001mg/l以下 | <0.000001 | <0.000001 | カビ臭 |
| 41 | 2-メチルイソボルネオール | 0.00001mg/l以下 | <0.000001 | <0.000001 | |
| 42 | 非イオン界面活性剤 | 0.02mg/l以下 | <0.005 | <0.005 | 発泡 |
| 43 | フェノール類 | 0.005mg/l以下 | <0.0005 | <0.0005 | |
| 44 | 有機物(全有機炭素) | 3mg/l以下 | <0.3 | <0.3 | 味 |
| 45 | pH値 | 5.8~8.6 | 6.3 | 6.7 | |
| 46 | 味 | 異常でないこと | 異常なし | 異常なし | 基礎的性状 |
| 47 | 臭気 | 異常でないこと | 異常なし | 異常なし | |
| 48 | 色度 | 5度以下 | <1 | <1 | |
| 49 | 濁度 | 2度以下 | <0.1 | <0.1 | |

北部水源系給水栓：有年地区(採水場所：西有年、有年原地区)
南部水源系給水栓：有年地区以外(採水場所：周世、坂越、福浦、御崎地区)

給水栓(蛇口の水)の検査結果は以上のとおりです。すべての項目及びすべての地点で基準値を下回っており、赤穂の水道水は安全で安心してお飲みいただけます。

介護老人保健 施設事業の決算

問い合わせ先
介護老人保健施設 ☎42・1005

業務の状況

平成21年度は、前年度に続き入所利用者の安定確保に努めたことにより、短期の利用者では減少したものの長期の利用者が大きく増加したことにより、延利用者数は前年度に対し3.8%増加しました。

平成21年度の入所利用者数は延16,692人（1日平均45.7人）、通所利用者数は新型インフルエンザ感染防止のため休業しましたが、わずかな減少にとどまり、延2,039人（1日平均8.6人）となりました。

経理の状況

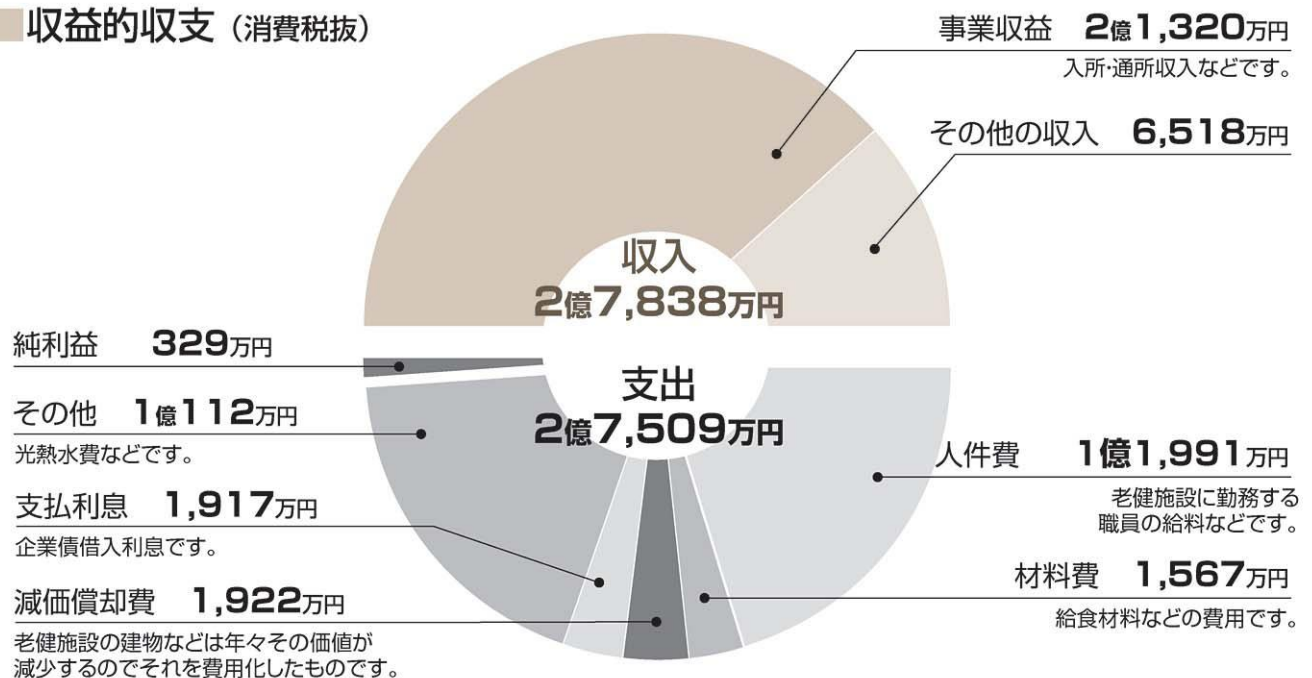
経営状況を表す収益的収支については、総収益278,380,827円、総費用275,091,379円となり、3,289,448円の純利益となりました。

資本的収支は、収入総額35,302,791円、支出総額37,199,091円となり、差引不足額1,896,300円は内部留保資金で補てんしました。

今後の老健施設運営

利用者に選択される施設サービス及び居宅サービスの提供を基本として、経営の安定に取り組んでまいります。

収益的収支（消費税抜）



利用者の状況

（単位：人）

| 区分 | | 延利用者数 | 一日平均利用者数 |
|----|----|--------|----------|
| 入所 | 長期 | 14,649 | 40.1 |
| | 短期 | 2,043 | 5.6 |
| 計 | | 16,692 | 45.7 |
| 通所 | | 2,039 | 8.6 |

平成22年度予算 上半期の状況

6月補正予算までに、緊急雇用就業機会創出事業に1,100万円などを計上したほか、9月補正予算では赤穂シティマラソン・プレ大会開催経費に1,200万円、「地域活性化・きめ細かな市単独事業」として児童遊園地整備事業に1,860万円、道路橋梁整備事業に2,300万円、学校園施設整備事業に4,360万円などを計上しました。

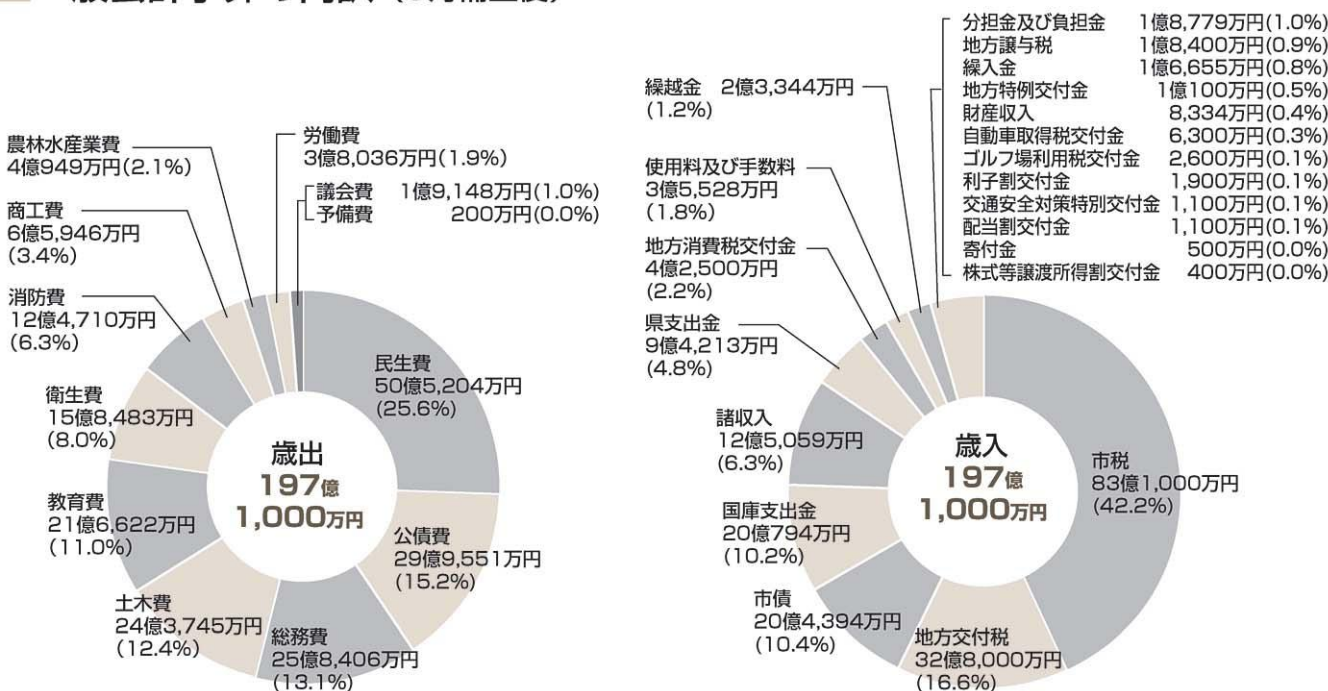
これにより特別会計、企業会計を合わせた9月補正後の平成22年度予算総額は、当初より4億2,620万円増えて、453億7,924万円となっています。



各会計別予算状況

| 会計区分 | 平成22年度 当初予算額 | 6月補正まで | 9月補正まで | 平成22年度 現計予算額 | |
|------|-----------------|-------------|-----------|-----------------|------------|
| 一般会計 | 193億3,000万円 | 1,230万円 | 3億6,770万円 | 197億1,000万円 | |
| 特別会計 | 国民健康保険事業 | 51億8,880万円 | | 51億8,880万円 | |
| | 老人保健医療 | 680万円 | 952万円 | 1,632万円 | |
| | 職員退職手当管理 | 7億3,900万円 | | 7億3,900万円 | |
| | 公共下水道事業 | 27億1,700万円 | | 27億1,700万円 | |
| | 農業集落排水事業 | 2億2,700万円 | | 2億2,700万円 | |
| | 墓地公園整備事業 | 1,960万円 | | 1,960万円 | |
| | 介護保険 | 31億4,900万円 | | 31億8,418万円 | |
| | 駐車場事業 | 1億2,260万円 | | 1億2,260万円 | |
| | 土地区画整理事業清算金 | 300万円 | | 300万円 | |
| | 後期高齢者医療保険 | 5億5,100万円 | | 5億5,100万円 | |
| 小計 | 127億2,380万円 | | 4,470万円 | 127億6,850万円 | |
| 企業会計 | 病院事業 | 110億4,252万円 | | 110億4,252万円 | |
| | 介護老人保健施設事業 | 3億4,692万円 | | 3億4,692万円 | |
| | 水道事業 | 15億980万円 | | 150万円 | 15億1,130万円 |
| | 小計 | 128億9,924万円 | | 150万円 | 129億74万円 |
| 合計 | 449億5,304万円 | 1,230万円 | 4億1,390万円 | 453億7,924万円 | |

一般会計予算の内訳 (9月補正後)





写真で見る決算

子育て支援事業



事業費 **4,433**万円

一般財源ほか
3,520万円

新たに坂越小学校区においてアフタースクールを開設したほか、出産費の一部を助成するなど、子育て家庭への支援を推進しました。

県支出金
814万円

国庫支出金
99万円

土地区画整理事業



事業費 **5億3,046**万円

一般財源ほか
7,906万円

市債
1億5,400万円

有年地区、野中・砂子地区、浜市地区における土地区画整理事業を推進し、道路や公園などの整備並びに宅地の利用増進を図り、快適で機能的な生活空間の創出を推進しました。

国庫支出金
2億9,740万円

妊婦・乳児健康診査費補助事業



事業費 **2,088**万円

一般財源
732万円

妊婦健診(14回)、乳児健診(2回)に対し、その費用を助成することにより、妊娠・育児等にかかる経済的負担の軽減を図りました。

県支出金
1,356万円

生活対策臨時交付金事業



事業費 **8,796**万円

一般財源
19万円

「地域活性化・生活対策臨時交付金」を活用し、排水路整備事業、赤穂御崎桜補植事業、避難所施設整備事業など、地域活性化に資する事業を幅広く実施しました。

国庫支出金
8,777万円

地産地消推進事業



事業費 **129**万円

一般財源
129万円

地域で生産されたものをその地域で消費する「地産地消」の推進のため、直売イベントによる地場農産物の利用促進を図りました。

経済危機対策臨時交付金事業



事業費 **1億8,977**万円

一般財源
762万円

「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を活用し、河川改修や道路等の整備、社会教育施設の整備を行うなど、地域の実情に応じたきめ細かな事業を実施しました。

国庫支出金
1億8,215万円

耐震診断推進事業



事業費 **2,960**万円

一般財源
1,059万円

市債
1,240万円

災害時には避難所となる、学校施設の耐震化向上に計画的に取り組み、児童・生徒の教育環境や避難施設としての安全性を高め、安心・安全対策の充実に努めました。

国庫支出金
661万円

市民憲章

わたくしたちの赤穂市は、播磨灘と千種川の清流にはぐくまれ、古い歴史と伝統をもつ、義士発祥のまちです。このまちを愛するわたくしたちは、誇りと責任をもち、自然と調和のある豊かで希望にみちたふるさとづくりをめざし、ここに市民憲章を定めます。

1. 自然と歴史を大切にし、美しいまちをさげます。
1. 教養を高め、文化の向上につとめます。
1. 健康で働き、明るい家庭をつくります。
1. 互いに助け合い、愛の輪をひろげます。
1. きまりを守り、秩序ある生活をおくります。

編集後記

10月、収穫の秋。市内各地で秋祭りが開催されました。晴れわたる空のもと勇壮にバタ板を練り合わせる若衆、雨のなか屋台を何度も差し上げる男たち。息が続く限り跳ね続ける鼻高…。受け継がれてきた地域の伝統、

これからも残していきたい、わたしたちの誇りです。赤穂市がいつまでも誇れるまちとなるために。親から子へ、子から孫へ。未来へ託す平成21年度決算です。